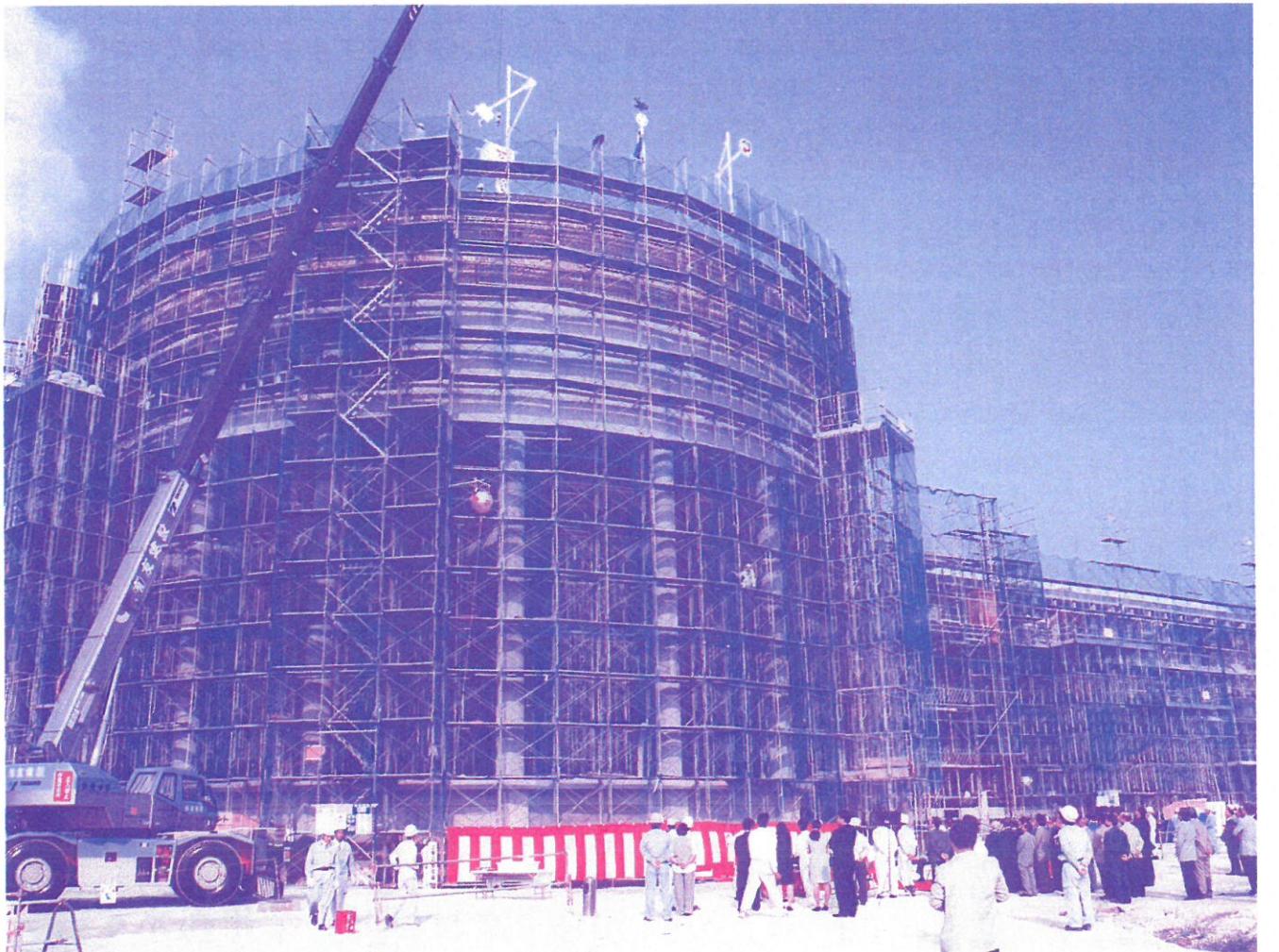




ちやたん町

議会だより



- 町の予算総額が177億円に 2P
- 「新図書館建設のための陳情」を採択 4P
- 上勢・桑江児童館がいよいよ着工 4P~5P
- 一般質問 5P~11P

(5P) 中村重一・宮平昌信 (6P) 瑞慶覧朝義・大城信廣 (7P) 比嘉昌信・照屋恒夫
(8P) 稲嶺盛仁・泉 朝秀 (9P) 知念良夫・松島良光 (10P) 稲嶺盛昌・伊集守明
(11P) 與那霸政保・照屋 宏

- 意見書 12P

郵政省解体に反対する意見書など

12号
'97 9月議会

「新図書館建設のための陳情」を採択

四千名の署名を添えて出された

現在の図書館が狭すぎることや時代のニーズにあったサービスが受けられるようにと96年9月議会に、「新しい図書館をつくる会」から「新図書館の早期建設」についての陳情が約四千名の署名を添えて出されました。文教厚生委員会において、1年にわたって審査されてきましたが、今議会において全会一致で採択されました。



新図書館の早期建設と建設計画審議会の設置についての要請

「今の図書館では狭すぎる。もっと広い図書館がほしい。」「時代に合ったサービスが受けられる図書館が必要だ。」などの新しい図書館を望む声が高まり、平成7年6月「図書館を考える会」を発足しました。県内の優れた図書館を視察し、お互いの認識を高めるための活動を通して、北谷町らしい図書館を一日も早く建設してほしいという声がさらに強まりました。

そこで、平成8年7月「新しい図書館を作る会」と改称、町内住民・勤労者を対象に署名活動を行いました。

ここに活動成果3,996名の署名を添え、新図書館の早期建設を強く要請いたします。建設に際しては行政・有識者・住民代表からなる建設計画審議会等を設置し、「新しい図書館をつくる会」の代表も審議委員として参画させてくださるよう併せて要請いたします。

1996年9月6日

新しい図書館をつくる会
会長 嘉陽田 ヤエ子

96年度 水道事業の決算は約7億円 全会一致で認定

96年度の給水件数が7千63戸、給水人口は2万4千516人。ハンビーや桑江地域の大型店舗などの増加などにより給水量も増えています。

本年度の水道事業収益は約7億円で、前年度より2.36%の減となっています。主な理由は米軍の水道料金の減収によるものです。



浜川の護岸を整備

港区の災害対策事業として浜川漁港西側護岸の工事が行われます。

契約金額：1億1235万円
契約相手：北谷町字宮城1番地516
日栄土木
工 期：10年3月13日まで

新庁舎の地下に予定している 公文書館へ書架

金 領：2,562万円
契約相手：浦添市城間4丁目
24番1号
ジムキ文明堂

町の予算が
177億円に

基地のある自治体への交付金

本町には
4億7千万円の増額交付



生涯学習支援センター建設へ 総予算は約一七七億円に

一般会計の補正（二号）で町の予算総額は約一七七億円となりました。今年度から基地をかかる自治体に対し、新たに米軍人、軍属や米軍の施設面積などを基準に算定した普通交付税が増額配分されました。本町には四億七千万円余が追加されたのが予算の伸びた主な理由です。

図書館、町民会館などを併設した生涯学習支援センター建設費として報酬分など一千万あまりが予算計上されました。また、ライトアップ作戦で保安灯維持費追加文として各行政区に、それぞれ五万円づつが計上され、ハンビー地域の新設分として一〇〇万円が追加されました。

北前地域の普天間川に橋

北前とハンビー地域の道路を接続するため、普天間川にかかる橋の工事が始まります。延長が23m、幅17mを予定。

契約金額：1億2495万円
契約相手：北谷町字玉上218番地
崎原土建
工 期：10年3月25日まで



九七年度九月定例議会は、九月十六日から二六日までの十一日間の会期で開かれました。辺土名町長の任期最後の、第二〇〇回目の記念となる今回の議会では美浜の土地に関わる保証金問題などで、十五人が一般質問に立ちました。その要旨を紹介します。

5 議会だより



問 医療改悪による町民への影響と、町独自の医療助成施策の対応について伺いたい。

答 外来時の薬剤費が別途負担となり、老人保健における外来や入院費の一部負担金も増額となる。お年寄りの方については非常に厳しい状況になることが懸念される。

心身障害者医療助成事業は、八年度の実績で約七四一円を助成、対象者が二〇二名。

母子、父子家庭医療助成事業は約一七六円を助成。乳児

答 一人暮らしのお年寄り等に対する給食宅配サービスの回数を、増やす考へはないか。

問 高齢化時代といわれている現代社会で、老人問題、薬価の問題等の財源が大変厳しいと言われているが、医療制度の改革による実態について具体的に説明を伺いたい。

答 高齢者や、障害をもつ人たちのために住宅改造資金助成制度を実現する考へはないか。障害者基本計画の策定状況と、内容について。

答 身体に障害のある皆さん方が安心して暮らせるよう浴室、トイレ、台所等

答 老人保健制度は、高齢化社会の到来を見越して昭和五八年一月より実施され、昭和六一年に、老人保健施設を創設。老人の一部負担の改定で、外来は一ヶ月八〇〇円、入院は期限を撤廃し

問 一日四〇〇円。低所得者については二ヶ月を限度に一日三〇〇円、以後無料。

答 病院と老人保健施設は一回につき九千九三〇円、これに痴呆性老人加算分として七五〇円、更に食事計算として四八〇円が老人保健施設の一人当たりの費用。病院、診療所については、老人ケアとして一日につき四時間以上、六時間未満は七千六八〇円で食事用の四八〇円、更に痴呆性度老人加算が七五〇円。老人保健施設と病院、診



中村重一議員

問 医療保険制度の改悪に対する町の対応

答 医療改悪による町民への影響と、町独自の医療助成施策の対応について伺いたい。

① 医療保険制度の改悪に対する町の対応

② 高齢者、障害者福祉

③ 米軍基地の下水道と道路の共同使用について

宮平昌信議員

① 老人デイケアについて

問 高齢化時代といわれている現代社会で、老人問題、薬価の問題等の財源が大変厳しいと言われているが、医療制度の改革による実態について具体的に説明を伺いたい。

答 高齢化の時代に入りつつある。地域と一緒になるボランティア等の体制が立てさせていければ前向きに対処していきたい。

答 身体に障害のある皆さん方が安心して暮らせるよう浴室、トイレ、台所等

答 老人保健制度は、高齢化社会の到来を見越して昭和五八年一月より実施され、昭和六一年に、老人保健施設を創設。老人の一部負担の改定で、外来は一ヶ月八〇〇円、入院は期限を撤廃し

問 一日四〇〇円。低所得者については二ヶ月を限度に一日三〇〇円、以後無料。

答 病院と老人保健施設は一回につき九千九三〇円、これに痴呆性老人加算分として七五〇円、更に食事計算として四八〇円が老人保健施設の一人当たりの費用。病院、診療所については、老人ケアとして一日につき四時間以上、六時間未満は七千六八〇円で食事用の四八〇円、更に痴呆性度老人加算が七五〇円。老人保健施設と病院、診



**美浜地域の道路を整備
(第3工区)**

契約金額：1億3965万円
契約相手：北谷町字浜川48番地
旭建設
工期：10年1月6日まで

玉上・宇地原線の道路線を変更

軍消防署から白比川、北玉区公民館を通り県道24号線にぬける道路整備のために路線の変更が行われました。9年後の開通をめざして整備を進めていますが、部分的にも整備ができしだい利用していくという計画になっています。

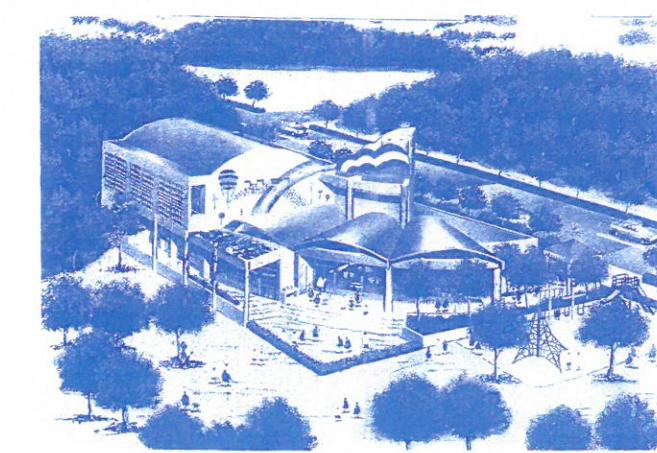
白比川の米軍の消防に抜けていく部分について、今年度から整備をし、開通した後に北玉区公民館への取り付け道路の工事をすすめていくことになります。



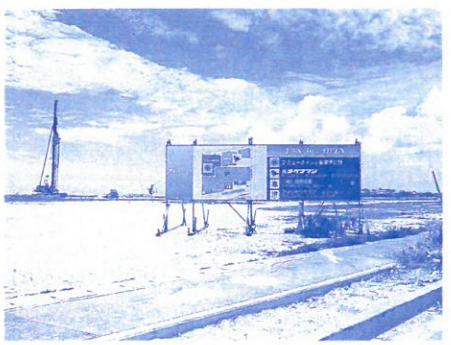
**町内第1号 上勢・桑江児童館がいよいよ着工へ
来年4月にオープン予定**



契約金額：1億27万5千円
契約相手：沖縄市南桃原2丁目18番5号
町田組
工期：10年1月6日まで



北谷第2小学校裏にあった養鶏場跡地に第1号の児童館が建設されます。第2小校区の低学年の子供たちが対象となります。児童館は謝荊区、宮城区にも建設が計画されています。



北前安良波線新設工事と、全体の進捗状況と水予防と対策について伺いました。今後見通し、先住地域の冠水予防と対策について伺いました。

用地取得及び建物移転補償は、平成十年度で完了する予定。

今年度道路工事を三工区に分けて発注済み、地盤が軟弱のため地盤改良工事と擁壁工事を進めており。本格的な道路工事は年次的に整備をしていきたい。北前二号線と接続されることによる交通渋滞と、安全対策をどのように検討しているか。

北前旧鉄道線から新設道路の雨水は新設道路で受けて、普天間川と海へ雨水を排除していきたい。一番低地となっている公民館前に集中していた雨水を分散させます。

新設道路との交差点は車両が集中することが予想されるために、信号機の設置、横断歩道等を設置して交通渋滞及び交通安全対策に万全を期していきたい。

新設道路は現道路に比べて海拔が高くなるが、現道路と接続の際の安全対策はどうか。

現道部分の取り付けを約二〇メートルと約二

五メートルの範囲内で緩やかなスロープを設置して安全でスマーズに新設道路に侵入できるよう対策を講じています。

海拔の高い新設道路が先住地域を横断する形で設置されることによる大雨の冠水対策について伺いました。

北前公民館前の北前五号線の冠水対策として、北前公民館前の北前五

ことによって浮揚が減少し、道路冠水が少なくなる。大潮の満潮時に道路の一部が冠水する。本新設工事でどのような対策がとられるのか

号線の冠水対策として、北前公民館前の北前五号線の冠水対策として、北前公民館前の北前五

生涯学習支援センターの建設は国との合意ができたのか、施設別の割合や機能について説明を求める。

町民意識のニーズの調査、体制づくりのため生涯学習支援センターの建設は国との合意ができたのか、施設別の割合や機能について説明を求める。

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

辺土名朝一後援会報三号で数名の野党議員が事実をねじまげた内容のビルで辺土名町政を批判している。この事だが、どういうことか。

生涯学習支援センターの建設は国との合意ができたのか、施設別の割合や機能について説明を求める。

生涯学習支援センターの建設について、監修業務の経過について

久得山の効率的運用は、決定されたと思うが、どのような経緯で決定されたか。用地確保等のため交換、売買があったが、目的、場所等について伺いたい。

答 前島袋町政の平成二、三年度に施設整備事業を円滑に推進するため、公有普通財産の効率的運用と、普通財産の交換や売買がされている。平成元年度に北谷幼稚園用地取得のため、嘉手納飛行場内の町有地を処分。三年度は約九一六坪、二千七一〇万円余で久得山。保健相談

問 久得山の効率的運用は、決定されたと思うが、どのような経緯で決定されたか。用地確保等のため交換、売買があったが、目的、場所等について伺いたい。

答 前島袋町政の平成二、三年度に施設整備事業を円滑に推進するため、公有普通財産の効率的運用と、普通財産の交換や売買がされている。平成元年度に北谷幼稚園用地取得のため、嘉手納飛行場内の町有地を処分。三年度は約九一六坪、二千七一〇万円余で久得山。保健相談



① 住民福祉の増進と町有軍用地の効率的運用について

問 実施されている事業の成果は、住民からどう評価されているか。住民福祉の増進を図る諸事業の実施は、後年の方々にも負担してもらわざるを得ない。政策も必要ではないか。

答 公有普通財産が効率的に利活用されることに

よって、地域住民の福祉増進と、地域経済の波及効果、活性化に与える影響は大きい。事業効果が後世の住民にも及ぶので、地方債事業の選択は厳しく行ない、公債費の増高を抑制していくことが重要。

問 美浜地区の企業誘致内閣の立上がり、年間集客人員月の立上がり、和昂が十年の四月、アジマア、シーサイドリゾートが十年四月開業、健康保養施設は十二年四月開業予定、全体的な計画で年間集客予定員が、約五千八千人、雇用予定員が七七〇名、現在、ホテルを除いての見込み。

答 国場組は九年度七月に開業、マイクマン、奥原商事が十年の三月、北谷町と福祉団体の育成と取り組みについて。

問 定率と各企業別の立上りの見通し、年間集客人員見込み及び雇用人員等について。

問 久得山の効率的運用は、決定されたと思うが、どのような経緯で決定されたか。用地確保等のため交換、売買があったが、目的、場所等について伺いたい。

答 五年度から土地の処分センター用地取得に伴う代替処分で約五千六〇三坪、八千五七万七〇〇円で久得山を売買等がある。

② 冠婚葬祭について

問 辺土名町長が事業のため、交換あるいは売買した内容等と、町有財産の効率的運用については。

答 等は一件で、北谷中学校用地取得に伴い、約九五七坪、六千八千四〇〇円で、嘉手納町の久得山を処分。本町が取得した面積が約一六二坪で、六千五一四万八千円。

問 年度までに、町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。

答 平成五年度より九年度までの町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。

③ 美浜埋め立て地について

問 伊集守明議員に教育行政について

答 平成五年度より九年度までの町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。

問 各小中学校の生活指導の取り組みと今後の対策、校舎等の改築年次計画について。

答 原商事が十年の三月、北谷町と福祉団体の育成と取り組みについて。

問 平成五年度より九年度までの町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。

答 平成五年度より九年度までの町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。

問 各小中学校の生活指導の取り組みと今後の対策、校舎等の改築年次計画について。

答 原商事が十年の三月、北谷町と福祉団体の育成と取り組みについて。

與那霸政保議員

① 住民訴訟裁判について
② 生涯学習支援センター計画の進捗状況

問 住民訴訟裁判は、前島袋町長が交わした「覚書」が全ての原因と聞いていますが、町長、助役は事務引き継ぎを受けたか、その内容は。

答 覚書は事務引き継ぎされおり、昭和五九年十一月十二日付で、北谷町漁業協同組合と本町の間で、漁協所有の漁港施設用地と町所有の埋立地と交換する覚書を交わしたもの。

問 「覚書」は停止条件付契約しているが、停止条件というものは明示されていたのか。

答 殺協は本町に對し、裁判では、口答弁論は完全勝利したと言つてはいるが、町長は裁判で負けたのか、口頭弁論は何回行われ、どのような内容だったのか。

問 ビラ等で裁判は完全勝利したと言つてはいるが、町長は裁判で負けたのか、口頭弁論は何回行われ、去年の七月に提訴されて以来、弁護士との書面のやり取りは判決では、口答弁論は完全勝利したと言つてはいるが、町長は裁判で負けたのか、口頭弁論は何回行われ、去年の七月に提訴されて以来、弁護士との書面のやり取りは

問 生涯学習支援センター計画の進捗状況、年次計画と資金計画、場所、設計に当たっては身障者等に対する配慮がなされているか。

答 十一年度で実施計画、十二年度から十三年度は工事、資金計画で五一億二千八五二万八千円、そのうち九〇%の四七億五千六七四千

問 上、町長が、保証金の返還等により合意解除したのは妥当な処置であったと思うが、町長の見解は。

答 町は、コスモエンタープライズへの解除通知

問 照屋宏議員に美浜土地処分に関し、町長が民・刑両面から訴えられた件について

答 ② 町内循環バスの運行、および敬老無料バスによる老人福祉の拡充について

問 民法第五四〇条により契約解除した以上、いかなる理由があつても合意解除はなし得ないとする根拠について。

答 コスモ社は結婚式場経営を計画していたベルフレンセが、町に対し債務不履行となる状況の中で、ホテル事業計画に大きな事情変更が生じたことでホテル事業計画を断念、モザイク事業計画による規模の縮小の必要性が生じ、議会に土地処分の変更議案を提案し、議決された。

問 契約保証金は履行確保のため、コスモ社の「事情変更の主張」に合理的な根拠があると判断される

の撤回は可能であると判断し、合意に基づく契約の解除を行ったもので、契約保証金は契約確保のためであり、コスモ社との事情変更の主張に合理的な根拠があると判断された以上、保証金の返還等により合意解除したのは妥当な措置である。

問 私の政治家としての政治生命を搖るがし、社会的に名譽を傷付ける行為であり、名譽毀損の場合には、後援会や弁護士とも相談をして、何等かの措置を講じたい、断じて許される問題ではない。

答 新しい役場をキヤンプ桑江に造ると、当分の間、交通の不便は免れないか



問 が、裁判では、口答弁論は完全勝利したと言つてはいるが、町長は裁判で負けたのか、口頭弁論は何回行われ、去年の七月に提訴されて以来、弁護士との書面のやり取りは

約だけ。

答 鑑定料の一二〇万円について弁償を求められ、鑑定結果は適性と確信をしているが同じ理由で、同じ場所を前町長は三〇〇万円をかけて平成三年に鑑定を入れているが、なぜ辺土名町長に返済しき、弁償しろと言っているのか。島袋前町長も平成三年三月に漁港用地の鑑定をさせている自分が鑑定を入れる場合には、問題がないとされているのに、私がその鑑定を入れた場合には不当だと疑問と言わざるを得ない。

問 市長は、中央公民館敷地内に予定し、身障者への援助が基本。複数の土地鑑定士で鑑定は実施したか、交換、売買で町有財産の経済的価値は増加したのか、減少しているのか。

答 二者の鑑定士の鑑定に基づき処分等をしていっているには等価交換や等価売買が基本。複数の土地鑑定士で鑑定は実施したか、交換、売買で町有財産の経済的価値は増加したのか、減少しているのか。

問 二者的の鑑定士の鑑定について、平成五年度より九年度までの町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。

答 平成五年度、五千三千七万六千円。六年度五千六八三万六千円。七年度六千二八三万六千円。六年度五千六千四〇二万一千円で、町民が安心して暮らせる福祉社会を実現するため、引き続き助成をしていきたい。

問 県内の六五才の人口が十五万二千八三六年。県内高齢者の立場に立った十五万二千八三六年。町も七〇才以上の老人人口は毎年増えているが、今後の取り組みについて。

答 高齢者の立場に立った適切な支援体制確立が重要な。

問 火葬場の設置計画と葬祭場の設置計画と、今後の取り組み、見通しについて。

答 行政は施策として面倒みなければならないが充実が重要。

答 高齢者の立場に立った適切な支援体制確立が重要な。

問 各小中学校の生活指導の取り組みと今後の対策、校舎等の改築年次計画について。

答 原商事が十年の三月、北谷町と福祉団体の育成と取り組みについて。

問 伊集守明議員に生涯学習支援センター計画の進捗状況について。

答 平成五年度より九年度までの町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。

答 平成五年度より九年度までの町内福祉団体へ補助は二四事業で十三町が助成した各団体別助成額と福祉団体の育成と取り組みについて。



沖縄開発庁の存続・強化に関する意見書

沖縄の振興開発については、復帰以降3次に及ぶ沖縄振興開発計画に基づき、沖縄開発庁を中心として、諸施策が総合的に講じられたことにより、社会資本や生活環境の整備が大きく前進し、本土との諸格差も次第に縮小するなど総体として着実に発展を遂げて参りました。

また、内閣官房における沖縄関係機関が産業の振興、米軍基地問題、基地返還跡地利用等、沖縄に関する問題解決に果たした役割も大きく、今後ともその役割の重大性は一層増大するものと確信致しております。

しかしながら、依然として存在する過重な米軍基地や基地から派生する事件事故は今なお後を絶ちません。また、経済・産業構造基盤の脆弱さや高失業率、島嶼県としての不利性など、本件の経済・社会環境は本土と比較して異質のものがあり、県民が願う自立的発展への道のりは未だ厳しい状況にありますが、沖縄開発庁が国土開発省へ統合されると、これら諸問題に対応する諸施策を実施していくことは困難と思われます。

したがって、本県の振興開発を今後とも強力に推進し、あわせて米軍基地問題の解決、基地返還跡地の利用対策を図っていくためには、沖縄開発庁において本県の特殊事情を踏まえ、一元的かつ総合的な調整機能を担い、取り組むことが必要不可欠であります。

よって、国におかれましては、課題山積する本県の実情をこ理解いただき、沖縄開発庁の存続と強化について特段のご配慮を賜りますよう強く要望します。以上、地方自治法第99条第2項の規定により、意見書を提出します。

1997年9月26日

郵政省解体に反対する意見書

行政改革会議の中間報告は、郵政事業については簡易保険を民営化、郵便貯金は民営化のための条件整備を行う、郵便は国営とし郵政事業庁に移管するとされ、更に情報通信行政については、通信放送行政は行政委員会へ、情報通信産業の振興は産業省へ二分するとしている。

郵便局は、選駆地・離島を問わず全国津々浦々に郵便・郵便貯金・簡易保険のサービスを提供し、地域住民の生活の基盤となっており、郵便局は国民共有の「生活インフラ」ともいえる重要な機関である。

一方、情報通信は、今日の情報化の急速な進展に伴い、その高度化は来るべき21世紀に向けて戦略的に取り組むべき最重要課題である。

特に沖縄県においては、郵政省が沖縄県と連携してマルチメディア特区構想を推進している最中であり、情報通信行政の二分割は沖縄マルチメディア特区構想の根幹をゆるがすことにもなりかねない重大問題である。

この21世紀を担う情報通信の着実な実現のためにも、通信・放送行政と情報通信産業の振興行政を分離することは得策ではなく、また、郵政三事業はどの事業を民営化しても郵便局ネットワークの崩壊につながるものあり、そのしわ寄せは真っ先にこの沖縄県において現れることになりかねない。このため、地域における金融、物流、情報の拠点として郵便局の現行経営形態での存続は今後とも不可欠である。

したがって、行政改革会議における省庁再編案は、沖縄県全市町村議会における郵政事業の民営化反対・現行経営形態堅持の決議を全く考慮に入れず、地方における郵便局の重要な位置づけ・存在を無視したものであり、国においては郵政事業と情報通信行政を今後とも一体とし、郵政省解体を行わないよう強く要望する。

1997年9月26日

編集後記

「お父さん頑張って」と大きな声。周りの声援に応えるように一生懸命走るのだが、日頃の運動不足で息もきれ無理して走ることになる。秋の大運動会の季節である。我が家のからするとかなり逞しくなつたが、それでも六年間の早さに感慨深い一日になる。当日の長男(ちやくし)、小学校最後の運動会。小学校入学当時から走ることになり毎年運動会の季節である。我が家の隣組みリレーの選手として家族三人が走るはめになつた。一年生からスタートし男女交互にバトンが渡され、六年生の息子から「かあーさん」に、その次が自分の番。結果はどうであれ心地よい汗をながし、美味しい弁当を家族全員で食べ最良の時を過ごした。議会広報のバトンも町民とのつなぎを大事に行政に渡し、息がきれない様に継続していきたい。(田場)

